

平成14年度第2回 京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録

日時:平成15年3月5日 午後1時30分～午後5時30分

場所:キャンパスプラザ京都第4講義室

出席者:平田、佐藤(修)、田中(泰)(沖村代理)、佐々、清水(藤田代理)、長谷川(昭)、渡邊、吉田(足立代理)、辻本(角野代理)、鈴木、中川、竇、入江、佐藤(忠)、新野、石原、片山、以上各委員
田中(宏)、上南、福垣、長谷川(太)、以上オブザーバー

欠席者:林

(敬称略)

配付資料

- 資料0:前回議事録(案)
- 資料1:防災研究フォーラム関係資料
- 資料2:平成14年度地区部会の活動報告
- 資料3:突発災害関係資料(韓国の水害について)
- 資料4:自然災害研究人材データベースへの研究者の登録方法
- 資料5:火山噴火予知連絡協議会の活動報告
- 資料6:平成14年度予算及び予算執行状況
- 資料7:自然災害研究協議会委員及び出席者名簿
- 資料8:第40回自然災害科学総合シンポジウム
- 資料9:平成15年度地区部会の活動計画
- 資料10:平成15年度予算案
- 資料11:第2期自然災害研究協議会の目標について

協議会開催に際し、佐々議長より挨拶があった。ついで、防災研究所の入倉所長代理の石原委員より挨拶があった。ついで、委員・オブザーバーの紹介があった。

0. 前回議事録(案)の確認

資料0の前回議事録(案)を持ち帰って検討し、変更すべき点等があれば中川委員まで連絡する。

(報告事項)

1. 防災研究フォーラムの立ち上げについて

中川委員より資料1をもとに、防災研究フォーラムの立ち上げが昨年12月25日東大地震研究所 であり、成功裏に終了したことが報告された。

2. 地区部会活動等(資料2)

北海道地区:特に活動していない。

東北地区:平成14年度東北地区災害科学研究集会を1月8日に弘前大学にて開催。

「東北地区災害科学研究」第39巻の刊行。

定例宮城県沖シンポジウム(第1回)を3月8日に仙台国際センターで開催予定。

東北地区のメーリングリストの整備、ホームページの立ち上げ、書籍情報に基づくデータベースの作成

関東地区:「彩の国」県民オープンフォーラム2002～地震から人と家と町を守る～を昨年11月26日に大宮ソニックシティ市民ホールにて開催。

中部地区:三重大学の林拙郎先生が土石流災害調査を実施。20万円を使用 確認の結果、経費支給の申請がなかった。

関西地区:特に活動していない。

西部地区:平成14年度西部地区部会研究集会を2月15日に九州大学国際ホールで実施。

防災に関わる総合情報伝達システムに関するフォーラム(略称:防災情報フォーラム)を3月17日に福岡市消防本部で開催予定。

第39回自然災害科学総合シンポジウムを昨年の9月21日に宮崎大学工学部で実施。

3. 突発災害担当委員からの報告

實委員より昨年8月に発生した韓国の水害に関して突発災害調査の科研費がつき、調査を実施したとの報告があった。科研費のタイトルは「2002年朝鮮半島における豪雨洪水土砂災害に関する調査研究、科学研究費(特別研究促進費)、代表 實 馨(京都大学防災研究所)課題番号 14800007」である(資料3)。

4. 企画調査担当員からの報告(資料4)

佐藤(忠)委員より人材データベース作成の進捗状況が報告された。総合研究班時代のデータは全て入力済みであるが、更新が必要である。WGの会議を3月28日(金)キャンパスプラザ京都で開催し、更新方法等について説明する。登録済みの研究者については各地区で管理者を設けてID、Passwordを研究者に知らせる。新規登録については管理者がID、Passwordを新たに設定し、登録者に知らせる。なお、新規登録者の承認についてどのようにするかは今後審議していただきたい。

5. 防災専門分野の活動について

火山噴火予知研究協議会からの活動報告が石原委員よりあった(資料5)。地震(平田委員)、気象(新野委員)分野の活動報告については口頭で説明があり、今後紙面等を準備することとなった。

6. 予算の執行状況について

中川委員より、資料6をもとに平成14年度予算の執行状況の報告があった。研究企画旅費50万円の内、25万円を研究企画WGに使用するが残り25万円を他で使用してほしい旨佐藤(忠)委員より依頼があった。また、関東地区からは員等旅費30万円を使用する予定がないので他で使用してほしい旨渡邊委員より依頼があった。中川委員より、年度末が近いので、各地区に配分されている予算は地区で責任を持って処理してほしいと依頼があった。また、来年度はフォーラムやシンポジウムの実施にからめて計画的に予算を処理してほしいと強い要望があった。

7. その他

片山委員より、地区防災研究フォーラム、地区防災シンポジウム等、会の名称、主催が明確でない。明確でないと混乱が生じる。誤解を生じないよう交通整理が必要であると指摘があった。主催は明確にする必要があるが、「京都大学」という文言は入れにくい。「自然災害研究協議会」でよいのではないか。会の名称については文科省としては別に決まっていなくても良い。東北地区、西部地区の報告書に「文部科学省科学研究費特別研究促進費」と印刷されているが、この科学研究費は昨年度までなので修正すること(表紙と同色のテープなどで覆うなど)。

(協議事項)

1. 平成15年～16年度の委員委嘱について(資料7)

1号委員

東京大学地震研究所 平田 直委員(継続、兼3号委員(突発災害担当))
新潟大学積雪地域災害研究センター 高濱信行委員(新規)
神戸大学都市安全研究センター 沖村 孝委員(継続)
京都大学防災研究所 佐々恭二委員(継続)

2号委員

北海道地区:藤田睦博委員(継続)
東北地区:長谷川昭委員(継続)
関東地区:渡邊啓行委員(継続)
中部地区:調整中(至急連絡のこと)
関西地区:辻本剛三委員(新規)
西部地区:松永信博委員(新規)

3号委員

総務担当:中川 一委員(継続)
突発災害担当:平田 直委員(継続)
 寶 馨委員(継続)
企画調査担当:入江 功委員(継続)
 佐藤忠信委員(継続)

4号委員

気象災害:新野 宏委員(継続)
火山災害:石原和弘委員(継続)

5号委員:片山恒雄委員(継続)

6号委員

データベース:林 春男委員(継続)

2. 平成15年度自然災害科学総合シンポジウムについて(資料8)

寶委員より平成15年度自然災害科学総合シンポジウムの開催について説明があった。本年度は第40回という節目にあたるので、何か記念的な特別な取り扱いを考えている。通常は日本自然災害学会が開催される所(今年が高知)でやるが、集客力から見て大阪でどうか。2日間を考えている。若い人が魅力を感じる企画を考えてほしいと要望があった。3月28日に開催される企画調査WGでさらに検討することとなった。

3. 平成15年度地区部会活動計画について(資料9)

北海道地区:特になし(後日、藤田委員より以下のような連絡あり。防災フォーラムを北海道開発局、北海道の関係者を集めて開催したいと考えております。昨年度は準備不足のため、大学関係者対象のフォーラムでしたが、今年度は参加者の範囲を拡大したいと考えております。具体的スケジュールに関しましては、災害資料センター長の加賀屋先生と調整中です。予算としましては、昨年度の実績を目安に考えております)。

東北地区:災害科学研究集会の開催(秋田大学)

「東北地区災害科学研究」第40号の刊行
日本海中部地震20周年記念シンポジウムの開催
定例宮城県沖地震シンポジウム(第2回)の開催
自然災害科学関連情報他のデータベースの作成

関東地区:「彩の国」県民オープンフォーラム2003」を11月に開催予定。

中部地区:調整中

関西地区:調整中

西部地区:定例の地区部会研究集会の開催
地区防災研究フォーラムの開催

4. 平成15年度企画調査等について(資料11)

科学研究費特定領域研究への申請。安定的な自然災害研究協議会のネットワークに基づいて、採択の有無はわからないが、長期的に科学研究費特定領域研究等への申請や今後の防災分野の研究開発計画への提言を積極的に実施していく。申請課題として社会的重要性の高いテーマを検討する。3月28日に開催予定の研究企画WGで検討する。

また、現在の科研費での細目にある「自然災害科学」について、申請テーマ、申請件数、申請総額、採択件数、採択総額の経年変化を調査し、必要ならばテコ入れをする。中川委員が調査する。さらに、今後、特別研究促進費やCRESTなど大型の競争的資金獲得の努力をする。

5. 防災研究フォーラムに対する協議会の取り組みについて

防災研究フォーラムに対して本協議会として積極的にコミットしていく。

6. 平成15年度予算について(資料10)

資料10をもとに中川委員から平成15年度予算について説明があった。関西地区で第40回自然災害科学

総合シンポジウムを開催する計画で 100 万円を計上している。田中氏より、文科省の庁費として 680 万円が計上されているが、平成 14 年度と同程度と考えてほしいとコメントがあった。東北地区では平成 15 年度の事業実施計画が提出されており、かなり高額な経費を要することから全体との調整を図る必要がある。関東地区では平成 14 年度の実績程度を計上したい。3 月中に各地区の活動計画と必要経費を中川委員まで知らせ、中川委員が調整を図ることとなった。なお、予算の削減が予定されており、防災研究所の共同利用経費および間接経費の総額は 400 万円(平成 14 年度実績)より若干減額されるかもしれない。

7 . その他

次回開催予定

日時:平成15年4月21日(月)13:30～17:30

場所:キャンパスプラザ京都(注意:その後、防災研究所で開催と変更)